

第68回北陸地方非常通信協議会総会、表彰式及び防災情報通信講演会の開催

第68回 総会

令和元年6月11日(火)、金沢市内において第68回北陸地方非常通信協議会総会及び表彰式が開催され、防災関係機関をはじめ会員63名が参加しました。開催に先立ち、会長(北陸総合通信局長 山田 和晴)から、「昨年は日本各地で大きな災害が発生したが、被害を最小限に食い止めるには情報の迅速かつ的確な収集と伝達が命綱であり、非常時における通信の必要性・確保に関して認識を深めるとともに、日頃から防災体制を検証し災害に対する準備が重要だと考える。これから梅雨時期を迎えるにあたって通信設備の非常用バッテリー等の点検や非常通信ルートを確認し、さらに防災訓練でも実践されたい。」と挨拶しました。会議では、まず昨年の活動報告として、非常通信訓練や通信機器の点検結果、非常通信ルートの現状化、周知・啓発活動等について承認されました。続いて、今年度の活動方針等について、非常通信の確保を柱とした方針が提案され、満場一致で採択されました。

表彰式

本年は、非常通信及び災害時における情報伝達の確保等に貢献した、次の1個人1団体が表彰されました。

<p><個人> なかだ やすひろ 中田 康博 (富山市) ※ 当日はご都合により欠席</p>	<p>平成30年9月18日、劔岳中仙人谷で発生した滑落事故による遭難救助事案において、アマチュア無線による非常通信を傍受し、いち早く地元警察へ通報を行い人命の救助に寄与した。</p>
<p><団体> 陸上自衛隊 第14普通科連隊</p>	<p>災害等発生時における通信確保の重要性に鑑み通信インフラの復旧に備え、電気通信事業者と物資輸送などの訓練を実施しているほか、非常通信の重要性を深く認識し、その啓発に尽力するなど非常通信協議会の運営に多大な貢献をした。</p>



【表彰式】右から、陸上自衛隊 第14普通科連隊 前田副連隊長、名古屋曹長、山田会長

講演会



【講師】北海道 総務部
危機対策局長 辻井 宏文 氏

協議会総会後、防災情報通信講演会を開催し約130名の参加がありました。講演では、はじめに総務省総合通信基盤局 電波部重要無線室 課長補佐 岡本 政信から、防災・減災にかかる政府全体の方針、災害時における総務省の対応や中央非常通信協議会の取組と、今後、携帯電話が使用しているLTE技術を使った公共安全機関向けの共同利用型移動体通信ネットワークの実現に向けた検討が始まっている事等について説明しました。続いて、北海道総務部 危機対策局長 辻井 宏文氏を講師に迎え、北海道胆振東部地震発生時の対応について、実際の対応とその検証を交え講演を頂きました。災害対策本部における情報共有や関係省庁との連携における工夫と実際の対応、加えて情報収集・通信や避難行動等、15の検証項目に関する提言について紹介がされました。講演会アンケートでは、最悪の事態を想定し日頃から検討し備える事の重要性や、臨時災害放送局(FM局)が大変役だったことなどの感想が寄せられ、多くの方から参考になったとの回答を頂きました。

北陸地方非常通信協議会は、北陸3県における非常通信の円滑な運用を図ることを目的に、昭和39年に設置され、北陸管内の国の機関や地方公共団体、放送事業者、電気通信事業者、電力会社など、152の防災関係機関等(令元. 6. 1現在)により構成されています。

問い合わせ先: 北陸総合通信局 無線通信部陸上課
(北陸地方非常通信協議会事務局)
電話 076-233-4480